

ま ち の 話 題

豊岡

捨てる前に「ちょっと待って!!」

リフォームファッションショー

4月3日、不要になった古着や布をリフォームした衣装による手作りファッションショーが、豊岡市民プラザほつとステージで開催されました。

豊岡女性交流会と豊岡くらしの会の主催により初めて開催されたこのショーは、会員や身近な方がモデルになり、結婚、出産、育児、仕事：と女性の一生に沿った形で進行し、ウェディングドレスやフォーマルドレスなど約50点が会場を華やかに彩りました。

両会の会長を務める池田登志さんは「捨てる前に『ちょっと待てよ、再利用はできないかな』と考えていきたい」と話していました。



▲不要品から生まれ変わったドレスで華やぐステージ

城崎

城崎温泉流しびな

かなってほしいな

私の願い事

4月6日、「第6回城崎温泉流しびな」(城崎町商工会主催)が城崎温泉街を流れる大谿川で開催されました。

この催しは、親たちがわが子の健やかな成長を祈り、子どもの分身としておひな様にけがれを託して川に流すことにより、子どもを災難から守りたいとする素朴な古い習慣です。当日は、祭りの安全を祈願する神事後、着物姿の女兒が直径約40センチの桶に入れたひな人形を流しました。続いて、地元の子どもたちや観光客らが願いを込めた短冊を流しびなに乘せ、そつと川面に流し、成就を祈願しました。



▲思い思いの願いを書いた短冊を乗せ、川に流す観光客

竹野

小中学校入学式

フレッシュ新1年生

ちよつぱり緊張!!

4月8日、市内の小中学校30校と中学校10校で入学式が行われました。

竹野南小学校では、多くの来賓が見守る中、男子3人、女子3人の計6人の新入生を迎え、厳かに式典が行われました。

新入生を迎えることばでは、6年生が学校生活を絵を見せながら丁寧に紹介し、「ドキドキドン!1年生」の歌を合唱し歓迎しました。新入生はちよつぱり緊張しながらも「お兄さん、お姉さん、仲良くしてください」と全員で声をそろえ、元気にあいさつし、そのかわいがあふれていました。



▲元気にあいさつをする新入生一同



▲満開の桜を楽しみながら、ヤチャおどりを披露する参加者たち

日高

清滝桜まつり

満開の桜を楽しむ

ヤチャおどり

4月12日、清滝桜まつり（清滝地区公民館主催）が日高町山宮の清滝会館や清滝小学校周辺で開催されました。

校庭には、旧清滝尋常高等小学校の昭和元年卒業生が昭和4年に植えた樹齢約80年のソメイヨシノ15本などが満開となり、会館前では、同地区の「ヤチャ」を広める会などがヤチャおどりを披露しました。夜にはライトアップされた中で、カラオケ大会も行われました。

地元の有志でつくる「清滝の桜を守り育てる会」の会長の北村哲三さんは「桜の調査や病害虫の防除などをしてきました。これから桜を守っていききたい」と話していました。

出石

ジュニア陸上教室・合同記録会
気持ちのよい春
さあ走り出そう！



▲記録会で自分の練習の成果を試す児童たち

4月5日、第13回ジュニア陸上競技教室を出石総合スポーツセンター陸上競技場で開催し、出石・但東地域の小学生42人が参加しました。この競技会は、児童の健やかな発育と地域のスポーツ振興を図ることを目的に毎年実施するもので、これまでから、出石・但東地域（旧出石郡）の小学生を対象に行ってきました。当日は、豊岡総合高校陸上部コーチの杉立悟さんを講師に迎え、準備体操の大切さや速く走るポイントなどを中心に指導が行われました。その後の記録会（50～800メートル走）で、子どもたちは、それぞれの力を発揮し、気持ちのよい汗を流していました。

但東

企画展「草原の美モンゴルの民族衣装」

モンゴル遊牧民の

大地と空の色彩

日本・モンゴル民族博物館では、「草原の美 モンゴルの民族衣装」と題した企画展を、7月15日まで開催しています。

企画展では、モンゴルの多彩な衣装・装飾品等を展示し、この国の民族衣装の多様性や造形美を紹介しています。

衣装を試着していた来館者は、「独特の色と形でとても美しく、新鮮だが、なぜかどこかしら懐かしさを感じました」と話していました。

なお、観覧料は、一般500円、高校・大学生300円、小・中学生200円（県内の小・中学生は無料）、65歳以上250円で、常設展もご覧いただけます。



▲モンゴル衣装を試着しながら、衣装・装飾品等の展示を見る来館者